

## 2014年11月度 理事会 報告

2014年11月5日(水) 14:30~17:30 於：JIPA 事務所

### [審議事項]

#### 1. 海外派遣

以下の海外派遣を承認した。

- 1) 訪問団「IIPPF 官民合同実務レベルミッション 中国訪問代表団」【電子稟議承認済確認】：  
11/16~20 中国（北京）にアジア戦略PJより10名派遣する。  
工商行政管理総局のほか4機関を訪問し意見交換や現地IPGとの連携を図る。
- 2) 訪問団「ベトナム・インドネシア訪問代表団」：  
1/14~22 ベトナム（ハノイ・ホーチミン）インドネシアに、アジア戦略PJより8名派遣する。PPHとASPECの運用改善、部分意匠制度の運用定着、外国のみ著名商標保護の実現等を要望する。
- 3) 会議派遣「South to South ExpoとWIPO GREEN Advisory Board 会議」  
11/17~21 アメリカ(ワシントンDC) WIPO GREEN PJ 3名(内、1名現地参加)  
WIPO GREEN アドバイザリーボード会議出席の他、マサチューセッツ工科大学を訪問し、R&Dカンファレンス環境技術セッション、環境関連研究者との面談等を行う。

#### 2. 意見書・要望書の提出について

以下の意見書の提出について、担当役員の報告を受け、承認した。

- 1) 5大特許庁(IP5)長官宛“Industry IP Consensus Proposals for PHEP (Patent Harmonization Expert Panel)”。理事長名、10/10付(国際政策PJ)。  
9月度理事会審議内容から実質的な変更無しで、中国PPAC(中国専利保護協会)からも賛同を得て6団体(AIPLA, IPO, BE, KINPA, PPAC 及び JIPA)。
- 2) 審査基準室宛「審査基準改訂案(存続期間の延長)への意見。森田常務理事名、10/29付(医薬バイオ委員会)。  
今年5月の薬事法改正案に対する要望書を提出したが「再生医療等製品」に関する特許権の存続期間の延長登録となる処分及び延長期間を明確にするように再度要望した。  
[http://www.jipa.or.jp/jyohou\\_hasin/teigen\\_iken/14/141014\\_iyaku\\_bio\\_jpo.pdf](http://www.jipa.or.jp/jyohou_hasin/teigen_iken/14/141014_iyaku_bio_jpo.pdf)

#### 3. 会員向けアンケート

アフリカ知財制度に関するアンケート(国際第2委員会)について項目見直しや対象企業について検討後、実施することとした。アンケートの趣旨は会員企業のアフリカでの知財活動を定量的に把握するとともに各企業が抱える課題を把握し、その解決に向けて研究するというもの。

### [報告事項]

今月は入会、退会共にありませんでした。会員数は11月1日現在で、全1266社です。

#### 4. WIPO ファンドによるアフリカ WIPO 会合参加の件

・10月21日～23日にモロッコで実施されたWIPO会合の状況が理事長より報告された。

今回の会合は、WIPOファンドでの派遣であり協会負担無しに実施した。会合では、当協会の紹介をメインに知財システムの重要性を説いた。英語圏、フランス語圏の両方の国々から参加していた。アフリカでは特許庁の審査官の地位は高くプライドも高い。モロッコは、特許出願件数は年間1000件程度とまだ少なく知財システムの開発段階にある。イノベーションは大学が中心であり、企業は稀少。アフリカ全体としても特許出願件数が少なく、今回の会議では技術供与、投資の話が多いラウンドテーブルとなった。今後知財システムも発展してゆく地域であり、支援の必要性は有る。

## 5. 資料発行

資料名「中国パッシングオフ資料」、発行部数：標準部数、担当委員会:フェアトレード委員会

中国の営業秘密規制については、2007年8月に「中国営業秘密ハンドブック」として報告している。今般、不正競争分野のもう一つの分野であるパッシングオフについて取り上げる。

## 6. 2014年度主要施策について

### 1) プロジェクト活動：

#### (1) アジア戦略プロジェクト

アジア戦略PJがJIPA正会員に対して実施した「アジア諸国対応アンケートまとめ（中国・韓国・台湾版）」の報告がされた。集計結果としては、東アジア3カ国の中では中国の課題が圧倒的に多く、その中で実用新案問題、依然として多い模倣品の他国流出問題が数多く上がっている。

##### ① 模倣品対策（IIPPF）WG：

- ・建議内容を関係官庁のチェックを経て完成させたので11月に実施の官民合同ミッションで使用する。

##### ② 東アジア対応（法改正）WG：

- ・最高人民法院の商標審決取消訴司法解釈案のパブコメが11月15日期限で募集されており商標委員会と協力して対応している。

##### ③ ASEAN/インド WG：

- ・JETRO デリー今浦知財権部長に2015年2月訪問計画を説明するとともにインド知的財産審判委員会（IPAB）への訪問に向けた交渉を要請した（10/28）。
- ・JETRO アレンジでインド税関と弁護士の招聘による意見交換会を実施した（10/29）。

#### (2) 日中企業連携プロジェクト：

- ・メンバ間で各都市の状況を情報共有した(10/16)。上海SSIPの要求テーマである「知財の資産評価」に対しては、日本側は可能な範囲で対応することにした。

#### (3) 国際政策プロジェクト：

- ・WIPOセミナーが開催される（関西：11/28 大阪商工会議所、関東12/1 国連大学本部）。協会会長、理事長の挨拶のほか、国際委員会など専門委員会のメンバを派遣している。

申し込み：<https://wipo-jp-2014-gb.seminar-event.info/event/>

#### (4) 経済連携プロジェクト：

- ・トルコの知財活動について、技術分野ごとに網羅的にヒアリング対象企業に手続き開始した

(10/22)。TPP 交渉状況報告会に参加 (10/10)。交渉状況は報道の程度であり、詳細は情報統制されていて説明されていない。

(5) JIPA シンポジウムプロジェクト :

- ・打合せ (10/9.16 ほか) にて各登壇者と WG メンバでストーリー、パンフレット等検討している。

(6) 職務発明制度プロジェクト :

- ・第 9 回審議会にて産業界の各団体でまとめた意見書を審議会に提出して説明 (10/17)。法人帰属、現状と同等の対価請求権または相当の権利の保証、及び、インセンティブ制度の企業ガイドライン作成という骨子の姿勢で改正に向かうことが審議会で確認された。尚、当協会を含む産業界は、有識者のコンセンサスを得るべく意見交換を継続実施している。中村修二氏ノーベル賞受賞関係の報道発言で、職務発明制度改正反対という発言があり審議会を含め関係各所で議論を呼んでいる。メディアも扇動する状況にあり反対派も増えていることから、今期の国会への改正法の上程は時間的に厳しい状況にある。

(7) 営業秘密プロジェクト :

- ・関東部会にて、9/5 に開催した「技術情報防衛シンポジウム」の状況報告と講演を実施(10/21)、通常関東部会の 1 割強多い参加者であった。
- ・技術情報防衛 特別講演会を関西地区でも以下のように開催する。初回は、総合編で、今後、2 月前後に、予防編として第二回を関東・関西で企画。全 3 回で、最終回は次年度持ち越しの可能性有。

関西地区、特別講演会要領

日時 : 11 月 20 日 (木) 14 : 00 ~ 17 : 00 (13 : 30 開場)

場所 : 大阪科学技術センター 8 階大ホール

(8) WIPO グリーンプロジェクト :

- ・マレーシア IGEM 2014(マレーシア環境技術展)参加とマラヤ大学訪問を実施した(10/16-19)。展示会では、各大学・政府機関・民間企業のブースにて WIPO GREEN の紹介を実施し、また、マラヤ大学では大学の知財保護・活用を推進している組織を訪問して WIPO GREEN の仕組みなど紹介を行った。

2) 審議会関係活動 :

(1) 特許制度小委員会 (萩原参与) : 第 9 回会合開催(10/17)。

前出の職務発明制度に加えて、特許法条約 (PLT) ・商標法関係シンガポール条約 (STLT) への批准について説明があり、これに合わせて特許法、商標法改正が進められることとなった。

[http://www.jpo.go.jp/shiryou/toushin/shingikai/tokkyo\\_seido\\_menu.htm](http://www.jpo.go.jp/shiryou/toushin/shingikai/tokkyo_seido_menu.htm)

(2) 意匠制度小委員会(林 意匠委員長) : 第 1、第 2 回意匠審査基準 WG 開催 (10/10,27)。

ハーグ協定のジュネーブ改正協定に対応した意匠審査基準の改訂案を議論した。パブコメを 10/29 ~ 11/28 の期間で実施中。今回改訂は外内ケースの改正で国内オリジナル出願は影響は無い。12/26 の次回会合でパブコメで受けた意見を基に検討する。

[http://www.jpo.go.jp/shiryoutou/shingikai/isyou\\_seido\\_wg\\_menu.htm](http://www.jpo.go.jp/shiryoutou/shingikai/isyou_seido_wg_menu.htm)

- (3) 商標制度小委員会（池田 商標委員長）：第7、第8回商標審査基準WG開催（10/8,30）。新しいタイプの商標（音、色、ホログラム等）に関する審査基準について議論。音に関しBGMや効果音などを含むコマーシャル音は識別力が無い、など指摘事項を考慮の上、基準を修正して12月にパプコメを募集し来年1月に施行開始という計画で進めている。

[http://www.jpo.go.jp/shiryoutou/shingikai/t\\_mark\\_sinsakijunwg\\_menu.htm](http://www.jpo.go.jp/shiryoutou/shingikai/t_mark_sinsakijunwg_menu.htm)

### 3) 地域活動

- ・JIPA「2014年度第5回知的財産フォーラム関西」を実施した（11/7）。約150名が参加し、知財を語るという趣旨で、職務発明制度ほか、知財関係の13テーマをグループ毎に検討した。

### 7. 委員、講師派遣

特許庁の外部団体宛委託事業への研究員を派遣した。

- (1) 特許庁意匠出願動向調査（マクロ調査）委員会 委員(三菱総研受託分) 後藤田 祐己太氏（意匠委員会 委員）
- (2) 発明推進協会「WIPO/JF 研修カントリレポート発表会（10/29-30）」へ複数委員会より派遣。

### 8. 後援

弁理士会主催「知的財産価値評価センター設立10周年記念セミナー」（関東地区）  
日時：11月5日(水) 13:30～ 場所：弁理士会館 講演：佐々木 剛史氏（副理事長）

### 9. 事務局からの連絡事項

#### 1) 他団体シンポジウム等

- (1) IIP主催 特許庁委託産業財産権研究推進事業 平成26年度特別研究員 中間報告会  
日時 11月10日(月)11:00-17:25 会場：(一財)知的財産研究所 5階 会議室  
詳細及び申込み：<http://www.iip.or.jp/seminar/141110.html>

- (2) 特許庁主催「知的財産統計会合～知財を通じて見る世界経済～」  
日時 11月17(月)～18日(火) 10:00～ 会場：ホテルオークラ東京 別館アスコットホール  
詳細及び申込み：<http://www.ipsdm2014.jp/>

#### 2) 関係機関・団体人事

米国特許商標庁長官人事（10月16日(木)ホワイトハウス）長官候補としMichelle K. LEE 女史を指名。今後、公聴会、承認手続きを経て正式就任。

#### 3) 次年度にむけた準備について

- (1) 委員会テーマ選定依頼（12月下旬期限）を発行する。先の委員長、担当理事宛の事務局長メール『「知的財産推進計画2014」実施状況と2015年度に向けての検討について』を参考にし作成をお願いした。
- (2) 業種別担当役員の選出依頼（1月中旬期限）を発行する。
- 4) 産総研ニュース：「11月より非独占的实施権を設定した場合には不実施補償を廃止する（同法人ホームページ10/30）。」

以上